



Baubiologie (建築生物学・生態学) **バウビオロギー**

バウビオロギー 62号の刊行にあたり

総目録 No.1 ~ No.61



2021.5 No.62

日本バウビオロギー研究会
Baubiologie Institute of Japan

バウビオロギー 62号の刊行にあたり

2005年春に創立した、私たち日本バウビオロギー研究会(BIJ)は、年4回のセミナーと年4回の会報誌発行を旨とし、活動を続けてまいりました。2011年からはドイツIBNとのライセンス契約に基づき、通信教育講座を開始しています。

会報誌バウビオロギーは昨年6月に60号、人間で言う還暦を迎えました。単純に15年の歳月が流れたこととなります。ドイツIBNの会報誌(健康と住まいW+G)も40年170号をもって電子マガジンになり、スイスでの機関紙「バウビオロギー」も経済的な理由から紙面の雑誌刊行をすでにやめています。その意味で、日本での「バウビオロギー」が皆様の支援に支えられ、60号を超えたことは特筆すべきことのように思います。

昨今はコロナ禍によって換気の問題が大きく取り上げられるとともに、働き方(テレワーク)も問われ、今までにない居住環境への関心があるように思います。私たちのセミナー、通信教育講座のスクーリングも、目下オンラインで実施しています。息遣いなどのリアル感が失われるものの、移動の問題が克服される長所を多くの方は実感されていると思います。そもそもウイルスとは何か、健康とは何かという根本問題が突き付けられ、人間とは何かを誰もが熟考する時なのだと思います。一方、先日はアスベストの裁判による、国と建材メーカーの責任が決着したニュースが報道されました。一つの素材は、当初、安全で、かつ夢のような宝ものとして扱われつつ、健康被害が報告され、その因果関係が認められるまで何十年もかかる、という図式がこの問題でも繰り返されています。今は切望され、喜ばれているモノが、将来、健康問題、環境問題を引き起こすかもしれません。ホリスティックな視点の重要性はますます増していくことでしょう。

今回62号では、表紙と目次を一覧に並べてみました。内容があいまいなタイトルについて、また明らかな誤字については、ことばを補っています。また彩りを添えるべく、バウビオロギー建築について、掲載された図版を再掲し、少しでもその号の雰囲気が感ぜられるように試みました。第2号から連載を開始し、15号(2008年11月)で終えた、坊垣和明理事の「民家探訪」は同年に『民家のしくみ・環境と共生する技術と知恵』(学芸出版社)として刊行されています。

これまでかなりの量の記事が蓄積されていますが、出版不況もあり、単行本化には至っていません。これらの紙面をいずれ、研究会ホームページにも掲載し、広く一般の方にお伝えするとともに、その個別の記事をダウンロードできるようにしたいと考えています。

(石川 恒夫)

表紙の写真

旧山田郵便局電話分室(設計:吉田 鉄郎 1923)



多くの方は、どこか西洋の建物と思われるかもしれない。しかし、伊勢神宮の外宮のそばにある旧郵便局である。美しく維持されており、築100年になるとは思えない。現在はフランスレストラン、チョコレート専門店(カフェ)がはいる。

東京駅の正面の東京中央郵便局を設計した通信省営繕部の吉田鉄郎(1894 - 1956)の初期の貴重な建築である。平面的に中庭を囲むコの字型になっており、破風をもった赤い瓦屋根が特徴的である。窓枠の丸みが温かい。なお著書の『日本建築(Das Japanische Wohnhaus)』(1935)は日本建築の海外への紹介に大きく貢献した。

(石川 恒夫)

郵便振替口座 00120-8-445542

口座加入者名 日本バウビオロギー研究会

編集

石川 恒夫

原稿の宛先・広告の申込

日本バウビオロギー研究会事務局まで

発行部数

500冊

価格 会員には1冊を無料配布。

会員1冊 800円

一般1冊 1000円

頒布の条件

5冊以上まとめて購入の場合は会員/一般にかかわらず1冊800円の価格でご購入できます。

購入のお問い合わせは事務局まで。

著作権 執筆者に帰属します。

会員の方の住所変更

住所変更をされた会員の方は事務局までご連絡ください。(ご連絡がありませんと、会報誌がお手元に届かない場合があります。)

次号 2021年9月1日

編集/広告締切 2021年8月15日

日本バウビオロギー研究会会報誌

『バウビオロギー』

2021年6月 第17巻 第62号

発行 日本バウビオロギー研究会

発行日 2021年5月30日

編集 石川恒夫

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460

前橋工科大学石川研究室気付

Fax 027-265-7345

E-mail bureau@baubiologie.jp

URL <http://www.baubiologie.jp/>

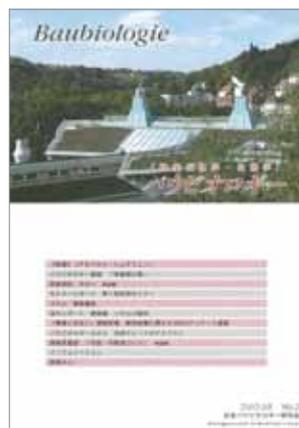
印刷 株式会社開文社印刷所

※本誌掲載記事の無断複製・転載はご遠慮ください。



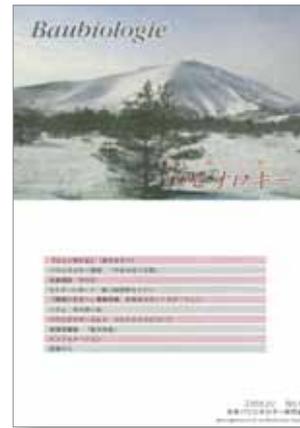
目次

はじめに シュテフェンの詩 アルベルト・シュテフェン	03
バウビオロギーの視点から 有機的建築 その1 過去・現在・未来 ピーター・ファン・デア・レー	04
セミナーレポート 「高橋元 メモリアルセミナー『バウビオロギーの原点から』」	
特別講演 「バウビオロギーと環境医学」 —すべての医師はバウビオロギーの認識を必要とします— フォルカー・ツァーン	08
「『ひと・環境計画』設立10周年 そしてこれから」 濱田 ゆかり	12
「日本の住まい 過去・現在・未来」 坊垣 和明	14
「ドイツ語圏でのバウビオロギー 木造建築のこれから」 マテュー・ペーター	16
「日本バウビオロギー研究会の設立 日本のバウビオロギーのこれから」 石川 恒夫	18
雑誌「健康と住まい」最新記事 無毒性の木材防腐剤への差別 ヴィンフリート・シュナイダー	21
コラム 山菜を食べる 中里 美保	24
バウビオロギーQ+A イソアリファーテ 濱田 ゆかり	25
インフォメーション	26
読者から	27
バウビオロギー建築 「藤沢の家 (K邸)」 マテュー・ペーター	32



目次

はじめに 『垣根』(アルベルト・シュテフェン) 石川 恒夫	03
バウビオロギー建築 「草屋根の家」 イシナガ建築工房	04
	08
民家探訪 その一 坊垣 和明	06
セミナーレポート 第1回定例セミナー	09
講演1 「バウビオロギー入門」 石川 恒夫	10
講演2 「美しい日本を創成するために」 樫野 紀元	13
コラム 養蚕農家 中里 美保	16
海外レポート 韓国編 「ソウルの動向」 濱田 ゆかり	18
雑誌「健康と住まい」最新記事 換気設備に関するIBNのアンケート調査	20
バウビオロギーQ+A ・合成スレートのアスベスト 石川 恒夫	22
現場見聞録 「竹炭・竹酢液づくり」 中里 美保	24
インフォメーション	25
読者から	26



目次

はじめに 『預言者』(カール・ジブラン) 石川 恒夫
 バウビオロギー建築 「はくれん舎」 村山建築設計事務所



民家探訪 その二
 テーマ「風」 風を防ぐ工夫 坊垣 和明

バウビオロギーの視点から
 有機的建築 その2
 ビーター・ファン・デア・レー

セミナーレポート
 第2回定例セミナー

講演1
 「住まいの環境と立地」
 豊原 寛明

講演2
 「住共同体によるパウエコロジーをさぐる」
 -日本や欧米のコウハウジング事例と今後の可能性-
 中林 由行

コラム 宝水 中里 美保

バウビオロギーQ+A
 ・「死んだ」建材と「呼吸する」壁 石川 恒夫

雑誌「健康と住まい」最新記事
 バウビオロギー 25の指針 最新版へ

現場見聞録
 「ベレット工場」 中里 美保

インフォメーション

読者から

目次

03 はじめに 『はちと神さま』(金子みすゞ) 石川 恒夫 03
 04 バウビオロギー建築 「やまもじの家」 新堀和巳建築設計室 04



06 民家探訪 その三
 テーマ「風」 その2 風を防ぎ利用する 坊垣 和明 06

10 セミナーレポート
 第3回定例セミナー

講演1
 「居住環境」 - その常識・非常識 -
 坊垣 和明 10

講演2
 「住空間環境の評価と改善」
 -地中電位や空気イオンの測定と理論に基づく実践例の紹介-
 秋月 克文 14

16 雑誌「健康と住まい」最新記事
 Part1
 未来あるカッヘルオーフェン
 カッヘルオーフェン・マイスターに聞く 18

20 Part2
 壁面暖房と土壁(レーム) - アレルゲンや刺激のない室内環境を - 20

22 コラム 冬の思い出 木村 敬義 22

24 バウビオロギーQ+A
 コルクタイルについて 某メーカー担当者 23

26 現場見聞録
 「新月伐採」 林 時江 24

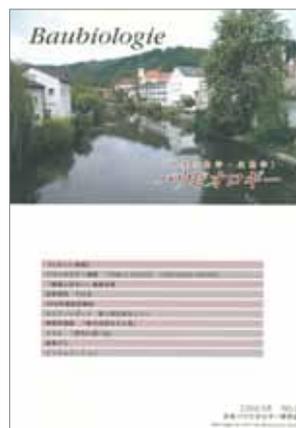
27 インフォメーション 26

読者から 27



目次

はじめに 『いいけしき』(まど・みちお)	石川 恒夫	03
ゲルハルト・シュスター氏特別講演レポート 「中部ヨーロッパにおけるエコロジー建築 ーその発展と現状の事例ー」を聴いて	勝山 寛敏	04
民家探訪 その四 テーマ「雨」 雨を防ぎ耐久性を高める工夫	坊垣 和明	06
セミナーレポート&パウビオロジー建築 第4回定例セミナー		
講演1 「何も失わない家づくり」	マテー ベーター	10
パウビオロジー建築1 「海老名の家 (M 邸)」	自然の住まい株式会社	14
		
講演2 「古民家再生から学びつつあること」	上林 蒼一	16
パウビオロジー建築2 「皆川邸」	株式会社上林製材所	20
		
海外レポート ドイツ編 「ドイツ・フライブルグ エコ事情」	江藤 眞理子	22
コラム 本の部屋	東田 優	24
読者から		25
2005年度収支報告		26
インフォメーション		27



目次

はじめに 『たのしい部屋』(高田敏子)	石原 律子	03
パウビオロジー建築1 「SMILE HOUSE」	木の家設計室くわくわ	04
		
パウビオロジー建築2 「SAKURAGI HOUSE」	株式会社医療福祉施設研究所 メディカル建築設計事務所	06
		
雑誌「健康と住まい」最新記事 Part1 「子ども部屋にとって最適な空間とは」		09
Part2 「2006年5月パウビオロジー会議(ドイツ)は成功裡に」		10
民家探訪 その五 テーマ「雪」 雪から建物や暮らしを守る	坊垣 和明	12
2006年度総会報告		16
セミナーレポート 第5回定例セミナー 特別編		
「日本で実践するパウビオロジー」出版のごあいさつ	石川 恒夫	17
		
講演 「マイナスイオンと健康な住まいについて」	菅原 明子	18
現場見聞録 「新月伐採木 その後」	林 時江	22
コラム 景色の思い出	吉田 彩美	24
読者から		25
海外インフォメーション		26
インフォメーション		27



目次

目次

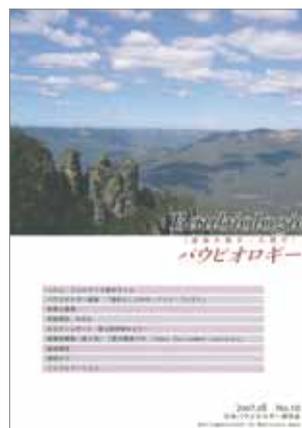
はじめに 『The Sun is in my heart』 (A. C. Harwood)	03
石川 恒夫	
サステナブル建築&パウビオロジー国際会議 (interCab)	04
石川 恒夫	
パウビオロジー建築	06
「吉岡の家」	
前橋工科大学石川研究室	
+ピオ・ハウス・ジャパン	
	
民家探訪 その六	08
テーマ「光」 光を調整し取り入れる工夫	
坊垣 和明	
セミナーレポート	12
第6回定例セミナー	
講演1	
「シックハウスの実例と、その原因と対策について」	
濱田 ゆかり	
講演2	
「建築における結露の実態とライフスタイル」	
岡田 好勝	
雑誌「健康と住まい」最新記事	20
パウビオロジーの40年 決まり文句、技術革新、トレンド	
コラム 匂いの記憶	24
長島 綾子	
読者から	25
インフォメーション	26

はじめに 『言間』 (北原白秋)	03	石川 恒夫
特別寄稿	04	
パウビオロジーからLEGEP (レゲップ) への道		ホルガー・ケーニッヒ
民家探訪 その七	06	
テーマ「熱」 暑さや寒さを防ぐ工夫		坊垣 和明
セミナーレポート		
第7回定例セミナー		
講演1	10	
「地域に根ざした住まいづくり・まちづくり」		三井所 清典
講演2	14	
「旧山古志村の住宅復興の取り組み」		武田 光史
パウビオロジー建築	18	
「中山間地型復興モデル住宅」		アルセッド建築研究所
		
寄稿	20	
土と薬の可能性 -やわらかないえ-		遠野 未来
インフォメーション	24	
コラム おいしい水	26	村上 幸恵
読者から	27	



目次

はじめに 『シルダの町の人びと』	高橋 妙子	03
民家探訪 その八 テーマ「熱」 暑さや寒さを防ぐ工夫 その2 寒さを凌ぐ	坊垣 和明	04
パウビオロギー建築 「趣味の部屋をもつ『終の住処』」	株式会社 林藤ハウジング	08
セミナーレポート 第8回定例セミナー		
講演1 「国産材を使った安心・安全な住まいづくり」	林 慧次郎	10
講演2 「住まいづくりの実践 — 『吉岡の家』で考えたこと・試みたこと—」	石川 恒夫	14
ドイツにおけるパウビオロギー教育制度 通信教育パウビオロギーIBNについて	石川 恒夫	18
雑誌「健康と住まい」最新記事 パウビオロギーに基づくエネルギー・アドバイザーIBN エネルギーを節約しつつパウビオロギーに基づき建築すること・改修するために ヴィンフリート・シュナイダー		20
エネルギー・アドバイザーレポート 住宅建築における節約的エネルギー利用のために スザンナ・ルンケル		22
コラム 「カンボジアにて」	平田 順子	24
読者から		25
2006年度収支報告、活動報告・2007年度予算、活動計画		26
インフォメーション		28



目次

コラム ジョルナイ工房のタイル	松岡 優子	03
パウビオロギー建築 「建材としての竹—ドイツ・プレミア」	スザンネ・コルナー/ ティルマン・シュベルレ	04
形態と建築 —建築の肉体と魂と精神への影響— ピーター・ファン・デア・レー		07
民家探訪 その九 テーマ「民家の形」	気候風土や産業・文化に対応した形 坊垣 和明	12
セミナーレポート 第9回定例セミナー 「住まいへの関心・住まいへの問題—最近の事例から—」		
講演1	稲田 智子	16
講演2	工藤 忠良	20
現場見聞録（第5回） 「室内環境ラボ Indoor Environment Laboratory」	高橋 妙子	24
総会報告		26
読者から		27
インフォメーション		28





目次

コラム
 姥捨(おばすて)の棚田 石川 恒夫 03

特別セミナーin福岡
 「2007年度日本建築学会大会(九州)関連行事」 豊原 寛明 04

民家探訪 その十
 テーマ「水を利用する」 坊垣 和明 06

セミナーレポート
 第10回定例セミナー
 講演1
 「太陽熱および自然エネルギー利用に関する現状と動向」 10
 講演2
 「失敗から学ぶ太陽熱利用」 大石 茂一 14

パウビオロギー建築
 「飯倉の家」第1期工事 江藤 真理子 18

「りぼん project -ふるさと幼稚園改修工事-」 遠野 未来 20

住まいにおけるエレクトリック・スモッグ 22

W+G最新記事から
 「白熱電球は締め出され、省エネランプは受け入れられるのか？」 24

インフォメーション 28

会員通信 西條 正幸 29

先人のことばを味わう その1(朱子) 榎野 紀元 31



目次

コラム
 サグラダ・ファミリアと植物 原 衣代果 03

民家探訪 その十一
 テーマ「火災を防ぐ」 坊垣 和明 04

パウビオロギー建築 (W+G最新記事から)
 多様の調和
 住まいに生命の気を流し込む 08

現場見聞録 第6回
 「北上川葦狩り体験」 - 現代の葦の可能性 - 遠野 未来 10

海外レポート
 ドイツとその周辺の国々のエコロジー建築の動き
 エコ・バウツアーの中で見たもの 濱田 ゆかり 14

セミナーレポート
 第11回定例セミナー
 - 森林浴を楽しみつつ新月伐採の体験を - 勝山 寛敏 17

エコロジー建築のために -ökologisch bauen -
 ホルガー・ケーニツヒ 20

特別寄稿
 ドイツ・アントロポゾフィー(シュタイナー)医学留学記 浦尾 弥須子 24

インフォメーション 28

読者から 29

先人のことばを味わう その2(吉田兼好) 榎野 紀元 31



目次

コラム
土壁断熱パネル 村松 和彦 03

民家探訪 その十二
テーマ「火災を防ぐ」 坊垣 和明 04

セミナーレポート
第12回定例セミナー
電磁波問題の事例と対策について
講演1
「住まいづくりの実践—『飯倉の家』で考えたこと・試みたこと」
江藤 真理子 08
講演2
「住まいにおける電磁波について」 土田 直樹 12

バウビオロジー建築
化学物質を排除した「無合板の家」 濱田 ゆかり 16

 三愛学園
 モリモトアトリエ 18

健康と住まい 最新記事から
ストローベイル建築 21



エコ・ハウス シュタインバッハ 24

 26

2007年度収支決算報告 26

インフォメーション 28

会員通信
「エコキャビン創出プロジェクト」 遠野未来 29

先人のことばを味わう その3(孟子) 樫野紀元 31

目次

コラム
リフォーム&リニューアル展によせて 原 幸太郎 03

バウビオロジー・リフォーム&リニューアル
事例1
介護は心地良い空間で ご家族が健康で過ごすために 巻 京子 04
事例2
自然系素材を使って 中古物件のリニューアル 落合 伸光 06
事例3
moo やわらかないえ 自然素材に包まれる場 遠野 未来 08
事例4
エントレ炭によるマイナスイオン空間の創出 秋月 克文 10

特別寄稿
家づくり・住まいの空気と温熱環境を提案する
サーファーの奮闘記 村松 和彦 12

セミナーレポート
第13回定例セミナー
古民家再生について 花上邸を例に 鈴木 英二 16



民家探訪 その十三
テーマ「空気を調整する」 坊垣 和明 20

寝室領域のためのバウビオロジー指針値(SBM2008) 24
について(その1)
ヴォルフガング・メース

インフォメーション 29

先人のことばを味わう その4(ウィリアム・モリス) 31
樫野紀元



目次

コラム 「～農場から～地に足をつけ、食を考える」
原 幸太郎 03

民家探訪 その14 (最終回)
テーマ「くらしの知恵」 坊垣 和明 04

セミナーレポート
第14回定例セミナー 「音と健康」
講演1 「安心できる住まいづくりに必要なこと」 梅本 和正 08
講演2 「住環境と音の不思議」 関口 正男 12

バウビオロギー建築
「杉パネルを使った家」一近くの山の杉を使って考えたこと 16
落合 伸光

海外レポート
オーストリア・ドイツのエコ建築を訪ねて 吉垣内 英子 18

寝室領域のためのバウビオロギーの指針値SBM2008(その2) 21

健康と住まい(W+G) 最新記事から 24
バウビオロギーの家屋調査
バウビオロギー・測定技師IBNの日常から

ドイツの新刊書から・書評 26
ハインツ・グリン著『精神性と建築芸術のジンテーゼ』
トーマス・フォン・ダラアラミ

インフォメーション 28

こんなのできました「ソーラーはつでんキットたんぼぼ」 29
江藤 真理子

先人のことばを味わう その5 31
(エミール・オーギュスト・シャルティエ・アラン) 樫野 紀元



目次

特別寄稿
ネパールの風景から 中曾根 康 03

健康と住まい(W+G) 最新記事から
バウビオロギーにおける全体性 ヴィンフリート・シュナイダー 06

セミナーレポート
第15回定例セミナー「食育と食・食材のありかた」
講演1 「食の課題と食育」 重田 公子 08
講演2 「自給自足の計画－食材の生産とエコロジー」 斎藤 正貴 14

健康と住まい(W+G) 最新記事から
ボーデン湖をめぐるIBN研修旅行 ヴィンフリート・シュナイダー 19

バウビオロギー建築
健康と住まい(W+G) 最新記事から
傾斜地に建つ魅力的な住まい 建築とゲオマンティ 22

新連載に向けて
「文芸作品に読む建築の話」 樫野 紀元 24

ショート・インフォ 三題 26

インフォメーション 28

一般社団法人「全国電磁波測定士協会」の設立について 29





目次

目次

コラム

コラム

リジェネレーション・建築生産展 松山 初美 03
 ー日本バウビオロギー研究会展示ブースにてー

ザ・プリンス箱根（旧：箱根プリンスホテル）にて 石川 恒夫 03

快適住まいの感性学 その2

バウビオロギーリフォーム・リニューアル

限られたスペースを広く見せる工夫について『徒然草』 04
 樫野 紀元

①みはまのいえ ーやわらかないえ 遠野 未来 04

セミナーレポート

②桃が丘保育園改修工事 石川 恒夫 06

第16回定例セミナー「住まいづくりの実践」
 講演1「杉パネルを使った家」 落合 伸光 08
 ～近くの山の杉を使って考えたこと～

③最近の仕事から 大竹 清彦 08

講演2「木材を使うための知恵」 益子 圭一 12
 ～木材の流通 正しい選び方 良い家を建てるための提案～

快適住まいの感性学 その3

「住まいと健康」(W+G) 最新記事から
 総合としての建築 7つのコンセプト 16

身体の生理機能をスポイルしないために『枕草紙』 樫野 紀元 10

バウビオロギー建築は高いのか? 18

セミナーレポート

バウビオロギー・エコロジー研究所IBEF 20
 フランスにおけるバウビオロギーの発展

第17回定例セミナーin鎌倉

「ゼロ・エネルギー住宅の実践」～T邸を例に
 マテア ペーター 14

バウビオロギー建築

「壁面緑化の家」 白江建築研究所 22



「空熱式ソーラーシステム住宅ー
 パッシブ・ソーラー建築の先駆け」～E邸を例に
 遠藤 精一 19



「エレガントな洞窟住居」 ペーター・ヴェチュ 24



健康な暖房 (その1) アントン・シュナイダー 22

2008年度決算・活動報告及び2009年度予算・活動予定 26

インフォメーション 28

インフォメーション 28

バウビオロギーQ&A 29

会員通信 石永 節生 29

自然塗料について 濱田 ゆかり/加藤 俊和



目次

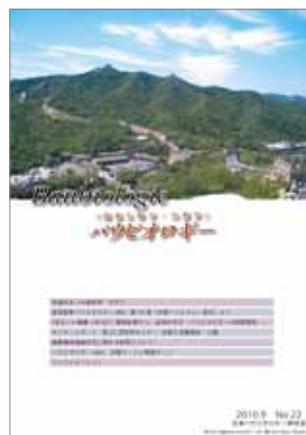
「通信教育パウビオロギー I BN」 日本版へ向けて	石川 恒夫	03
快適住まいの感性学 その4 すまいの心棒としての材料—『老人と海』	樫野 紀元	04
コラム 論語の新らしい解説本	樫野 紀元	07
セミナーレポート 第18回定例セミナー (2009年9月) 「眠りと寝室環境」 講演1「賢者の眠り—ひとりひとりの睡眠に答えを」	マテ— ベーター	08
講演2「住環境における眠りの場を考える」	川島 美勝	12
第19回定例セミナー (2009年12月) 「都市における農ある暮らし」 講演1「都市内農地を活かしたまちづくり」	豊原 寛明	20
講演2「農村コミュニティから都市コミュニティ形成へ 繋ぐものとしての都市内農地」	星 勉	24
インフォメーション		30

目次

「通信教育パウビオロギー I BN」 日本版へ向けて (第2報)	石川 恒夫	03
通信教育パウビオロギー I BN (試行版) 第17巻「居住心理学」 イルミンガルド・シュナイダー=ハーン		04
パウビオロギー+エコロジー研究所 83115 Neubeuern		
1. はじめに		
2. 動物園コンプレックス		
3. 騒音ストレス		
4. モノトーンがもたらす害		
4.1 形態の多様性と調和		
4.2 色彩の多様性と調和		
4.3 光の作用による多様性		
4.4 テクスチャーの多様性		
4.5 においの多様性		
5. 「故郷」という感覚		
6. 環境心理学		
7. おわりに 自己確認問題		
快適住まいの感性学 その5 見る—『眺めのいい部屋』	樫野 紀元	24
パウビオロギー建築 「真名の保養所」	森本 伸輝	28



インフォメーション



目次

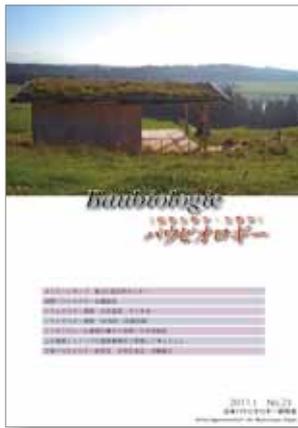
「通信教育バウビオロギー I B N」 日本版へ向けて (第3報)	石川 恒夫	03
快適住まいの感性学 その6		04
余暇時間をつくる『サザエさん』	樫野 紀元	
第20回定例セミナー レポート		08
エコ建築の促進のために		
「J I A環境データシート」をとおして考える	寺尾 信子	
バウビオロギー建築		
「エコ・キャビン」	遠野 未来	12
「矢向つばみ保育園」	遠野 未来	15
「八幡幼稚園」	石川 恒夫	18
住まいと健康 (W+G) 最新記事から		
有機的建築 ー私たちの未来の造形の課題		21
スペイン・ライダでのバウビオロギー会議		
ーヨーロッパのネットワーク形成に向けて		25
インフォメーション		27
2009年度収支・活動報告/2010年度 予算・活動計画		28
読者から		31



目次

「通信教育バウビオロギー I B N」 日本版へ向けて (第4報)	石川 恒夫	03
快適住まいの感性学 その7	樫野 紀元	04
地球環境の保全を図るー『サザエさん』		
通信教育バウビオロギー I B N	石川 恒夫	08
第16巻「空間ーフォルムー釣合」 第三章「調和的建築」抜粋		
「住まいと健康 (W+G)」最新記事から		12
全体の半分 バウビオロギーの空間造形		
セミナーレポート		
第21回定例セミナー		
会員の活動報告 1		
電磁波対策の現在	土田 直樹	14
オール・アースプラン		
会員の活動報告 2		
木質パネルを用いた「ビオ・キューブ」の可能性	落合 伸光	18
バウビオロギー建築 小手指の家 (石川恒夫+落合伸光)		20
会員の活動報告 3		
地産地消の住まいづくりー久留米でのNPO活動	石永 節生	22
バウビオロギー建築 地球基準/矢部川流域地場産住宅	(石永節生)	24
健康維持増進住宅に関する研究について	坊垣 和明	26
バウビオロギーQ & A		28
木製サッシと樹脂サッシ	石川 恒夫	
インフォメーション		29





目次

「通信教育バウビオロギ- I B N」 日本版へ向けて (第5報)
石川 恒夫 03

セミナーレポート
第22回定例セミナー
住まいの材料計画 自然を取り込んだ住まいをつくる
—社会的考察を中心として
快適住まいの感性学 (連載8・最終回) 梶野 紀元 04

新断熱材と住宅あれこれ
工藤 政利 09

国際バウビオロギ-会議報告 石川 恒夫 14

バウビオロギ-建築
左官遊具 そらまめ 遠野 未来 18

MOMO (店舗改装) 石川 恒夫 20

シンポジウム「土建築の豊かな世界」の内容報告
竹内 美樹 22

土の建築とドイツでの建築事務所で研修して考えたこと
畑中 久美子 24

日本バウビオロギ-研究会 分科交流会 活動紹介
遠野 未来 27



目次

コラム「私たちの課題」
落合 伸光 03

住まいと健康 (W+G) 最新記事から 04
バウビオロギ-と環境医学 ヴォルフガング・メース
第一部：あの頃は・・・
第二部：脳腫瘍は携帯を近づけない・・・

第23回定例セミナー レポート
「防カビ剤の概要と建材への応用」 大場 伸 11
「空気質の見方・考え方 —健康な住まいづくりのために」
山口 陽二 16

バウビオロギ-建築
住まいと健康 (W+G)
ドイツ・ヘッセン州における最初のストローベイル住宅
—持続可能+エネルギー効果+ローコスト— 20

ヴォルフ=ディーター・ブランク先生特別セミナーに参加して
工藤 沙織 24

「6周年記念 ブランク氏特別セミナー in 軽井沢」をおえて
久保 典子 26

ヴォルフ=ディーター・ブランク軽井沢セミナー 石川 恒夫 28

インフォメーション 29





目次

パウビオローゲIBNとして 石川 恒夫 03

セミナーレポート 第24回定例セミナー+6周年記念セミナー
 ドイツ・パウビオロギー建築の手法を学ぶ—ドイツのエコ建築事情
 ヴォルフ=ディーター・ブランク 04

特別寄稿
 富山型ストローベイルハウスの提案と研究 吉本 宏明 14

通信教育講座パウビオロギー 開設のご案内
 住まいを住まう人の手に取り戻す
 自ら考え、発見した先にライフスタイル提案 石川 恒夫 17

通信教育講座パウビオロギーのご案内
 日本パウビオロギー研究会 18

2010年度 収支・活動報告 22

インフォメーション 25

パウビオロギー建築
 「O邸改修 -外部臭気カットのための対策事例」 榊林藤ハウジング 26

ドイツにおける福島原発の放射能について：W・メース氏の報告 28



目次

パウビオロギー建築普及のために
 —通信講座開講に向けて— 落合 伸光 3

特集 土を使って建てる
 パウビオロギーの住まい —土と出会う
 (2011年10月7日特別セミナーより) 石川 恒夫 4

「土建築の課題と展望」
 (2011年6月11日第25回定例セミナーより) 遠野 未来 8

「土建築の課題と展望—土壁へのとりくみ—」
 (2011年6月11日第25回定例セミナーより) 畑中久美子 11

【特別寄稿】土建築の魅力 欧州の旅から 遠野 未来 15

資料-1 カッセル大学ワークショップ 土建築の研究 18

資料-2 ヨーロッパ・アジア 土建築ネットワーク 19

2011年 夏 活動報告
 (2011年9月10日第26回定例セミナーより) カイル・ホルツヒューター 20

TerrASIA 2011 in 韓国 (国際土建築会議報告) 遠野 未来 23

電磁気環境
 太陽が「青の時」をもつとき (W+G最新記事より) 25

電磁波について (2011年9月10日第26回定例セミナーより) 土田 直樹 28

携帯電磁波によるガンの発生可能性について (W+G最新記事より) 30

都市／農村に住む
 ベルリン：IBA2020—国際建築展覧会 (IBA) で都市ベルリンが望むこと (W+G最新記事より) 33

パウビオロギー建築
 「土を使って建てる」ミュンヘンの建築センターのイベント (W+G最新記事より) 36

文化財での休暇—ボーデン湖畔のピオ・ホテル アムツホーフ (W+G最新記事より) 39

【特別寄稿】パウビオロギーホテル「アムツホーフ」に泊まる 畑中久美子 42

EN PROJECT 遠野 未来 44

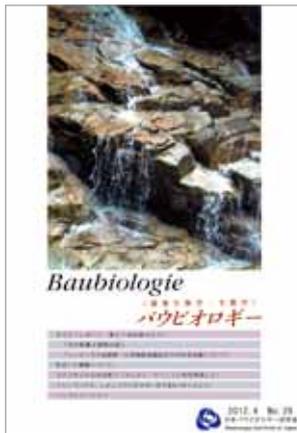
かまどのある集会所 畑中久美子 45

その他
 版築ロケットストーブ ワークショップ 遠野 未来 46

通信教育講座パウビオロギーの開設+パウビオローゲの課題 石川 恒夫 47

インフォメーション 49





目次

セミナーレポート 第27回定例セミナー

- 「木の乾燥と細胞の話」 伊藤 隼夫 03
- 「シックハウス症候群・化学物質過敏症の方の住宅改修について」 濱田 ゆかり 09



コラム (特別寄稿)

- 住まいと健康について ～我が家の家造りとその後～ 盛林 陽子 12

「ライフサイクルの分析」

- 「パウビオロギーの可能性」講演第二部 (2008年1月26日 特別セミナーin大阪より) ホルガー・ケーニツヒ 13

W+G137号より

- パッシブハウス、しかしパウビオロギー的であれ 27



インフォメーション

29

目次

- インフォメーション 03
B.A.U. 会議 in 軽井沢 2012年11月

- インフォメーション 04

第28回定例セミナーレポート

- なぜ、今、住まいの健康か？
健康を増進させる住まい 健康維持増進住宅研究会の紹介と成果報告 坊垣 和明 05

- 持続可能で健康な住まいのためのチェック・リスト
ギゼラ・ラープ+石川恒夫 11

「住まいと健康(W+G)」最新記事より

- 金属を使わない配筋 地磁場の自然な状態を保つために 14

- 世界初！構造体としてのストローベイル・ドーム 16



- パウビオロギーにおける倫理 19
パウビオロギーは理想を追求するのか、
それとも販売戦略たりうるのか？

- パウビオロギーとは？ペルント・キンツェ氏に聞く 21

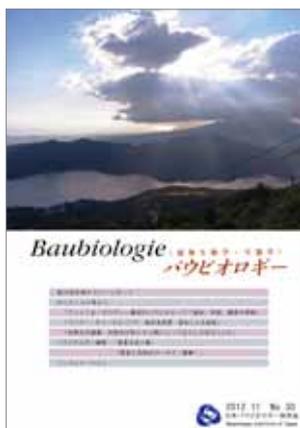
パウビオロギー建築
「キンツェ邸」



22

- 「版築シェルター」 24
(前橋工科大学設計ワークショップ・ドキュメント)

- 日本パウビオロギー研究会 2011年度 会計・活動報告 28



目次

第29回定例セミナーレポート

「そして建築が人間になる
—ルドルフ・シュタイナーの建築と思想—」 石川 恒夫 03

「健康とは？病気とは？
—健康生成論とアントロポゾフィー医学—」 浦尾 弥須子 12

「住まいと健康(W+G)」144号より
アントニオ・ガウディー最初のパウビオロゲ？
建材、色彩、構造の考察 17

フーゴ・キューケルハウス 総合芸術家
造形による成長 20

自然光の建築
自然光が私たち人間にとってなんと大切なことか 22

パウビオロギー建築

「藁葺き泥小屋」 畑中久美子デザイン室 24



「寛容と包括のロータス（蓮華）」
計画：ヴォルフゲーター・ブランク 26



インフォメーション 29



目次

B. A. U. 会議(2012年11月)から

B. A. U. 会議を終えて 石川 恒夫 03

W+G 146号+147号より

「私の日本訪問記」 ヴィンフリート・シュナイダー 04



「会員自己紹介パネル」 10
(BAU会議に向けて寄せられたパネルです)

江藤真理子 空設計工房の「住まいづくり」
田中 肇 「セルロースファイバー」、 「薪ストーブ」
辻 充孝 美濃町の家—重伝建地区周辺地域の町並み再生
土田 直樹 自然素材の家にこだわるなら、住む人に優しいオールアース
遠野 未来 私にとって建築とは、すべてのいのちをつなぐ場です
畑中久美子 土壁、版築を活かした現代建築の設計、参加型建築、地域再生等に取り組んでいます。
森本 伸輝 児童養護施設 子供の町（I期工事）
山口 陽二 調査&分析&コンサルティングで問題解決のお手伝い
吉本 宏明 NPO 富山ストローベイルハウス協会
石川 恒夫 パウビオロギーのために

パウビオロギー建築

「千が滝の別荘」 モリモトアトリエ 20



「都市型居住 シルベラード」 (W+G145号より) 22

W+G145号より

「青色光—アラームとしてのの」 26



インフォメーション 29





バウビオロギー 25の指針

A 建材と遮音

1. 自然素材を適材適所に [5] 〈4,7,15,21,23〉
2. 心地よい室内の匂い、有毒ガスを放出しないこと [13] 〈6,7,13,17,23〉
3. 高い放射能を示さない建材を用いる [16] 〈7,11〉
4. 遮音、振動の検討を [15] 〈14〉

B 居住環境

5. 室内の湿気を、吸放湿性のある建材によって調節する [6 + 7] 〈7,23〉
6. 新築物件の湿気と建材の乾燥 [12] 〈3,7,13〉
7. 断熱、蓄熱のバランスを [9] 〈3,7,10,15〉
8. 理想的な室内空気温度と周壁面温度 [10] 〈3,7,10,15〉
9. 自然換気による良質な空気を (新) 〈3,10〉
10. 放射熱による暖房を [11] 〈3,7,10〉
11. 自然の放射領域を変えない [17 + 18 + 20] 〈7,11,12〉
12. 電磁場、高周波を広げない [19] 〈7,11,12〉
13. カビ、バクテリア、粉塵、アレルギーの低減 (新) 〈13,23〉

C 環境、エネルギー、水

14. 再生エネルギーを利用しつつエネルギー消費を抑える [11] 〈5,7,8,10〉
15. 地域材を優先しつつ、限りある資源の乱開発に歯止めを [24] 〈5〉
16. 環境問題に導かないこと [23] 〈5,6,7,13〉
17. できる限り良い飲料水を (新) 〈9〉

D 空間造形

18. 調和的な尺度、プロポーション、フォルムの考慮 [22] 〈6,17,21〉
19. 色彩、照明、自然採光のバランスを [14] 〈22,23〉
20. 空間造形と調度品のための生理学的・人間工学的認識 [21] 〈20,21〉

E 建設敷地

21. 障害のない建設敷地を [1] 〈11,12〉
22. 工業地帯の中心や幹線道路から住居地をはなす [2] 〈2,13,14,18,19〉
23. 緩やかに分散した建築の風景、緑あふれるジードルンク [3] 〈1,2,17,18,19〉
24. 自然とむきあう、個人的で人間的な住環境とは [4] 〈2,16,17,18〉
25. 社会に負荷を与えない [25] 〈1,2,17,18,24,25〉

目次

第 32 回定例セミナーレポート「屋根緑化の今」		
「粗放的屋上・屋根緑化の手法と実例について」	永瀬 彩子	03
「屋根緑化の実際と課題」	後藤 良昭	08
第 34 回定例セミナーレポート「建築・環境・子ども」		
「子供とストレス、その影響について」	佐々木 豊志	18
(バウビオロギー建築)		
「手のひらに太陽の家 子供の健康と環境負荷を考慮した建築」	日影 良孝	22
		
(W+G 149号より)		
★新しい I B N 研究所の計画概要について		
ヴァインフリート・シュナイダー		26
(2013年8月6日 新建ハウジング+日本バウビオロギー研究会 共催セミナー「木の家の生産性を高める」より)		
「ドイツに学ぶこれからの木造建築—パウフリッツ 社本社見学」	石川 恒夫	27
(バウビオロギー建築)		
「角材パネルでつくる無垢造の家」	新堀 和巳	30
		
		
(W+G 149号より)		
ファッフェンホーフェンのエコ地区		
持続可能な町と都市景観をつくるジードルンク		35
(2013年9月5日 新建ハウジング+日本バウビオロギー研究会 共催セミナー「土を生かしたパッシブデザインの可能性」より)		
「土の性能と住宅への活用」	石川 恒夫	38
「新しい土の家 日本におけるバウビオロギー建築のひとつとして」	遠野 未来	42
(バウビオロギー建築)		
「版築シェルターによる 南相馬復興計画」	遠野 未来	44
		
「土の熱物性と実験棟における温熱環境の実測調査」	三田村 輝章	46
インフォメーション		51
2012年度会計・活動報告 / 2013年度会計・活動予定		52



目次

第35回定例セミナーレポート

- 「住環境満足度とストレスと健康型住宅事例の解説」
堤 仁美 03
- 「健康維持増進住宅研究委員会の最終成果」-健康と住まいを考える-
坊垣 和明 08

- ストローベイルとともに 活動の記録 吉本 宏明 12

- バウビオロギーに基づく建築と改修 建材と建築部位の詳細 (W+G 146号より) 第1回 断熱材 ヴィンフリート・シュナイダー 16
- (W+G 148号より) 第2回 木造構法 ヴィンフリート・シュナイダー 19
- (W+G 149号より) 第3回 床材 ヴィンフリート・シュナイダー 21

- バウビオロギーに聞く (第1回) 阿部 哲志 23

- バウビオロギー建築 (W+G 147号より) 「重みのある土・軽やかな竹—バングラデシュの学校」 25



- インフォメーション 29

目次

特別寄稿

- ベトナムの歴史遺産 (ホイアン、ミーソン) を訪ねて 平澤 宙之 03

第36回定例セミナーレポート

- 「アジアの住まいと暮らし 土建築の歴史と環境を乾燥地域 (イラン、中央アジアなど) の歴史的遺跡の修復・保全から考える」 渡邊 邦夫 05
- 「アジアの住まいと暮らし—土建築の歴史と環境—チベット高原東部の小学校建設支援活動をとらえてチベット族とイ族の土の住居」 齊藤 祐子 13

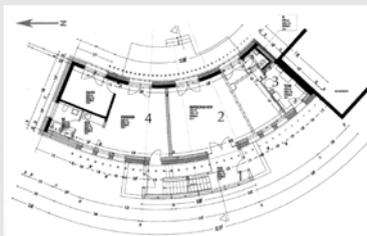
特別寄稿

- ハンス・シャロウンのダルムシュタットの国民学校について 石川 恒夫 20
中曾根 康

- ★IBNのための新しい研究所施設 (続報) 26

- インフォメーション 29

IBNの新しい研究所施設



★ 会報誌 33 + 34号 ~ 38 + 39号



目次

Places of the soul 魂の宿る場所

第一章 建築って大切ですか? クリストファー・ディ 03

第37回定例セミナーレポート

「古事記に学ぶ建築人間学」～住宅の設計と供給の基本はこれだ!
 -科学で読みといた古事記は、人の営みの羅針盤～ 榎野 紀元 10

「住まいと健康(W+G)」151号より

土建材からの自然由来の放射能について
 新しい調査結果と品質保証の問題 クリストフ・ツィーゲルト 15

イソシアネートとポリウレタン-災いそれとも恵みなのか?
 B A U財団の研究結果 ルディー・コェラー 18

★IBNの新しい研究所施設(第3回)
 地上階の躯体とリングアンカーの消磁化
 ヴィンフリート・シュナイダー 22

バウビオローグに聞く(第2回) 笠原 由希 25

インフォメーション 27

2013年度会計・活動報告/2014年度会計・活動予定 28

会報誌バウビオロギー 総目次 30

目次

日本バウビオロギー研究会 10周年を祝う 石川 恒夫 03

(W+G 152号より)

バウビオロギー+サスティナビリティ研究所 - IBNの新名称 04

★IBNの新研究所施設(第4回)-上階:木造枠組み工法+床パネル 06

★IBNのための新研究所施設(第5回)
 -万歳!! 私たちの灯台プロジェクトは完成! 09

第38回定例セミナーレポート

バウビオロギー建築を訪ねる at 宮城 プログラム 濱田ゆかり 12

第38回定例セミナーに参加して 石川 恒夫 15

バウビオロギー建築

ササキ設計北上本社	佐々木文彦	16
東海亭-移築再生の家	佐々木文彦	18
栗駒の家	佐々木文彦	20
穂波の家	佐々木文彦	22
住み継ぎの家	サスティナライフ森の家	24

バウビオロギー建築を訪ねる at 宮城 に参加して 26

お客様が満足するような建物を設計する	岡田 彩月	
住まい作りは文化的活動である	迫田 瑞枝	
木造建築物の魅力に陶醉する	廣瀬 竜也	
家に対する「誇り」	矢渡 繭	
東北の美しさ	盛林 陽子	

(W+G 153号より)

グリーンと社会(第一部)-アウグスブルクのフッゲライに学ぶ
 クリストフ・ピョック 29

【特別寄稿】第37回定例セミナー会員報告より
 「住人の快適性を重視する設計プロセス」 森 健一郎 32

バウビオローグ BIJに聞く(第3回) 川原 徳昭 36

海外レポート

前橋工科大学建築学科第二回海外研修旅行ドイツ編 石川 恒夫 38

インフォメーション 45

会報誌『バウビオロギー』総目次 46

日本バウビオロギー研究会 10年の歩み(年譜) 56-51





目次

日本ハウビオロギー研究会 10周年記念 第40回定例セミナー次第 03

魂の宿る場所 -ハウビオロギーのこれから- 石川 恒夫 04

ローテクとハイテク -その融合・調和が開く未来- 坊垣 和明 06

(W+G 147号より)
町が豊かになるとは? (その1) クリストフ・ビヨック 08

第二回 B. A. U. 会議次第 11

講演 1
アレルギー対策と換気システム (医工連携の最新事例) 三田村輝章 12

講演 2
気候・風土に根ざした日本の住まいとまちづくり 三井清典 14

講演 3
住まいの電磁波へ対策と住宅性能基準について 土田 直樹 16

会員報告 1
地域創生-家造りとNPO活動の報告 石永 節生 18

会員報告 2
私のおもう Sense of Peace のある暮らし-『あたらしいふるさと可視化プロジェクト』と卒業制作を通して 近藤 佳奈 20

会員報告 3
震災復興へ向けて -岩手県の取り組み- 阿部 哲志 22

講演 4
サステナブルデザインとは 省エネの考え方 辻 充孝 24

講演 5
人生と医療
-現代医療の問題点とアントロポゾフィー医学 浦尾弥須子 26

設計ワークショップ (軽井沢駅修景計画) 報告 石川 恒夫 28

インフォメーション 30

会議参加者からのおたより 清水 正之・近松 慶孝 31



目次

「住まいと健康」最新記事より
追悼 アントン・シュナイダー博士 03
アントン・シュナイダー博士 追悼 石川 恒夫 05

日本ハウビオロギー研究会設立に際して寄せられた祝辞〔再掲〕
アントン・シュナイダー 07

2015年ハウビオロギー会議 in ローゼンハイム
ハウビオロギーとサステナビリティ いかに全ては調和するか?
ヴィンフリート・シュナイダー 08

IBN 会議 2015年5月 報告 石川 恒夫 10

SBM 最新 2015年版について-ヴォルフガング・メースへのインタビュー 13

寝室領域におけるハウビオロギーの指針値 SBM2015について
ヴォルフガング・メース 18

ハウビオロギーの測定技術 (SBM - 2015) の指針
ハウビオロギーの指針値 20

医療実践におけるハウビオロギーと環境医学の協働-
環境衛生医アンネマリー・ペーターゾーン博士、ハンス=ヨアヒム・
ペーターゾーン博士にきく〔前半〕 24

2015年6月 第41回定例セミナー
群馬の古民家をたずねる-養蚕集落の現在 石田 壽信 36

坊垣和明の民家探訪 番外編 総社町山王地区を歩いて 坊垣 和明 38

前橋市総社町山王地区における養蚕農家を対象とした室内温熱環境の実測調査 三田村輝章 41

特別寄稿
山を知る・木を知る ハウビオロギーの実践的建築教育の試み 石川 恒夫 46

ハウビオロギーに聞く (第4回) 辻 充孝 48

2014年度会計・活動報告 / 2015年度会計・活動予定 50

アントン・シュナイダー博士 世界から届いた弔意 52

インフォメーション 54



目次

日本-フランス 土の建築交流企画 講演+パネルディスカッション
これからの時代、土の建築ができること 遠野 未来 02

「住まいと健康」最新記事より 第二回BAU会議を経て
日本訪問記 前半・後半 クリストフ・ビヨック 04



医療実践におけるバウビオロギーと環境医学の協働-
環境衛生医アンネマリー・ペーターゾーン博士、
ハンス=ヨアヒム・ペーターゾーン博士にきく〔後半〕 10

「住まいと健康」最新記事より 光の質とバウビオロギー
LED 照明- IBN の新しい研究所施設における
ヨアヒム・ゲルテンバッハ 21

LED-フィラメントランプ ピーター・ヘニンブマン 24

賛助会員紹介 その1
アトリエ DEF の仕事 大井 明弘 26

インフォメーション 30

目次

「住まいと健康」最新記事より
アルタナティブな居住のコンセプト
ヴィンフリート・シュナイダー 04

グリーンと社会 (第二部) クリストフ・ビヨック 07
-持続可能な都市計画のためのアクチュアルな課題-

2015年11月28日 第42回定例セミナー 報告
「木の建築の現在」-古民家再生から木造プレハブ工法まで-
渡邊 翔太 10

バウビオロギー建築三題
祈りの場へ-古民家改修 吉垣内 英子 12



都市の中の森に住まう
-垣根に寄り添い、あたたかな西日をうけとめる 石川 恒夫 16



川越広谷新町の住宅 落合 伸光 18



「住まいと健康」最新記事より
社会的美学 アンナ・ヘリンガーへのインタビュー 20

バウビオロギーに聞く (第5回) 江藤 真理子 24

会報誌 総目次 (0~44号) 26

インフォメーション 03



目次

日本と海外の土建築 状況と展望
2つの土壁シンポジウムから 遠野 未来 04

2016年3月12日 第44回定例セミナー 報告 人工照明と健康について

講演1「光は薬にも毒にもなる」
－光放射の非視覚的効果と照明応用－ 古賀 靖子 06

講演2「光は薬にも毒にもなる」
－光放射の生体安全性－ 竹下 秀 10

韓国の伝統住居「韓屋（ハノク）」をたずねて 石川 恒夫 17

「住まいと健康」最新記事より

IBNの電気自動車－航続距離、電磁波問題は？
ヴィンフリート・シュナイダー 19

第三の教育者としての空間－幼稚園はいかにあるべきか－
レオニー・ブラウホ 22

特別寄稿 世界文化遺産－荒船風穴－をたずねる 石原 智成 24

日本バウビオロギー研究会 平成27年度会計報告 26

日本バウビオロギー研究会 ご案内 28

通信教育講座バウビオロギーご案内 30

インフォメーション 03



目次

インフォメーション 03

2016年定例セミナー＋見学会 in 福岡（45回）in 岐阜（46回）の開催報告 04
平澤 宙之

第45回定例セミナー＋見学会 in 福岡
《見学会》

雨水ハウスの社会的意義、「水徳」・「水恩」 渡辺 亮一 06

雨水利用実験住宅の設計について 松野尾 仁美 12



《セミナー》

講演1：建造物の修復と保存－その基本的考え方
「土田先生のご講演を受けて」 土田 充義 18
石川 恒夫 20

講演2：民家のしくみ－その知恵に学ぶ－ 坊垣 和明 22

第46回定例セミナー in 岐阜
《セミナー》

バウビオロギーという考え方 石川 恒夫 26

《見学会》

岐阜県森林文化アカデミーキャンパス、「うだつの町」の見学雑感 石原 智成 32

バウビオロギー建築
「道の駅 美濃にわか茶屋」 辻 充孝 34



シュタイナー保育園は「はらべこあおむし」 石川 恒夫 38



特別寄稿

洋書紹介Ⅰ『実践：木のファサード－材料／計画／施工』 石川 恒夫 42

「住まいと健康」最新記事より

地震に強いセルフビルドの土建築（アースバック工法） 44

ネパールにおける円形のアースバック建築
ゲルノート・ミンケ／ハンスーペーター・シュミット

地震に強い土建築の建設について 46

ゲルノート・ミンケ、ハンスーペーター・シュミット

自然素材を用いた内装デザインのために 52

ヴィンフリート・シュナイダー

バウビオロギーという視点（再掲） 57

バウビオロギー 25の指針 58



目次

インフォメーション 03

第48回 定例セミナー セミナーレポート

3・11 から 6 年 被災地の建築と復興
—石巻・北上町からササキ設計の取り組み事例— 佐々木 文彦 04



伝統（構法）工法におけるエネルギーと健康のバランス 林 美樹 19

バウビオロギー建築
武蔵野・草屋根の家 林 美樹 28



葉山一色の家 林 美樹 30



バウビオロギー 25 の指針 32

目次

2018 年頭にあたり 石川 恒夫 03

第49回 定例セミナー セミナーレポート

講演 1 〈連続シリーズその1〉
バウビオロギーの住まいづくり —バウビオロギーの住まいとは— 石川 恒夫 04

講演 2 〈連続シリーズその1〉
「川越広谷新町の家」を事例とする住まいづくり 落合 伸光 09

講演 3 現代版「土壁の家」づくりから見えること 大井 明弘 17

バウビオロギー建築
木と土と自然素材でつくるワイナリーをたずねて アトリエ DEF 24

第50回 定例セミナー in 広島 セミナーレポート
「バウビオロギー ヴィジョンから実現へ」
講演 サステナビリティを加速する SDGs 坊垣 和明 28

バウビオロギー建築
海を臨む家 —曲線と左官による終のすみか— 遠野 未来 34



児童養護施設 いわき育英舎 森本 伸輝 38



W + G 「住まいと健康」最新記事より
スペインの有機的建築 42



日本バウビオロギー研究会 平成 28 年度 会計報告 46

インフォメーション バウビオロギー会議 in ドイツ 48

第50回 定例セミナー in 広島 報告 石川 恒夫 49



目次

スフィア基準 – ストレスを回避する居住空間を！ 石川 恒夫 03

第51回 定例セミナー セミナーレポート
 講演1 人を中心とした住まいづくり – 電磁波と上手に付き合う
 – パウビオロギーの住まいとは – (連続シリーズその2) 荒木 康史 04

パウビオロギー建築
 熊本県被災者宅 (新築) (株)レジナ 12

パウビオロギー建築
 マンションのリノベーション (株)レジナ&丸谷博男 (アドバイザー) 14

第52回 定例セミナー セミナーレポート
 講演1 放射 (輻射) 暖冷房の勧め
 – パウビオロギーの住まいとは – (連続シリーズその3) 坊垣 和明 16

講演2 土壁建築の環境性能
 – 蓄熱&調湿性能について実測調査からわかること 三田村 輝章 21

パウフリッツ社のおがくず断熱 石川 恒夫 28

パウビオロギー建築
 おらほ~の家 – おが屑の「蓄熱・断熱性能」紹介 長内 健一 30

会報誌パウビオロギー 1~50号 総目次 (号数順) 34

パウビオロギーへの医師のことは
 – ヴォルフガング・メース氏の講演 (2015) から 48

目次

IBN 会議 2018 パウビオロギー・アジェンダ 2025
 ヴィジョンを実現へ 報告 石川 恒夫 03

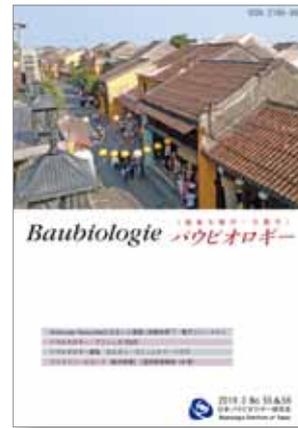
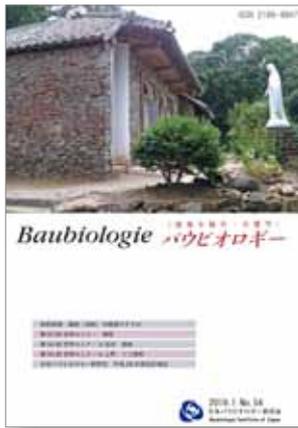
① 会場全景 (壇上にアウロのヘルマン・フィッシャー氏)
 ② ホルガー・ケーニツヒ氏
 ③ 光と色彩について語るカール・フィッシャー博士
 ④ 2階展示ブースと伝統衣装をまとった大工のアンドレアス
 ⑤ 協力企業と姉妹研究機関一覧
 ⑥ 有機的建築を標榜するチェコのホーツマン氏
 ⑦ 壇上に集合したパウビオロギー・インターナショナルのメンバー
 ⑧ マンフレド・ミリュー氏 (スマートハウスについて)
 ⑨ 21世紀の建築ビジョンを語るゲルノート・ミンケ博士
 ⑩ IBN代表ヴィンフリート・シュナイダーによる基調講演

マンフレド・ミリュー スマートハウスの電磁気環境的課題について 07

パウビオロギー 新25の指針 10

ゲルノート・ミンケ 21世紀の建築ビジョン 12

パウビオロギー建築 パウビオロギー会議によせて 22



目次

2018年12月8日 第55回定例セミナー in 上野 ミニ報告

「法隆寺・伎楽面の見学－法隆寺宝物館にて」 石川 恒夫 03

特別寄稿
輻射（放射）冷暖房のすすめ 坊垣 和明 04

2018年7月14日 第53回定例セミナー

「新そらどまの家－伝統と未来をつなぐために私たちが考えること」 丸谷 博男 08

2018年9月4日 第54回定例セミナー in 仙台
「科学の目で歴史をとらえ、未来につなぐ仕事とは」

講演1
「科学で測る建築年代－古建築の¹⁴C年代調査」 中尾 七重 15

講演2
「暑い寒い古民家が断熱気密補強で劇的に変わった」 安井 妙子 21



日本バウビオロギー研究会 平成29年度会計報告 30

バウビオロギー 新25の指針 32

目次

コラム

IBN 季刊誌《Wohnung+Gesundheit（住まいと健康）》
－紙媒体としての40年の歴史に幕、そして電子ジャーナルへ 03

「住まいと健康」最新記事より
バウビオロギー・アジェンタ2025 04

バウビオロギー建築
カムタン・コミュニティ・ハウス 石川 恒夫 06



『都市景観』
通信教育講座 18巻 クリストフ・ビヨック 08

1. 樹木を伐る：いいえ 11
2. 全体性と環境保護 14
 - 2.1 国家的、国政的なプログラム 15
 - 2.2 環境との共存の表現 16
3. 社会生態学的生活形式、社会形式 17
 - 3.1 システムのための基本原理 18
 - 3.2 社会の構造形式 19
4. 都市計画における人間の欲求 20
5. ジードルンク建築 24
 - 5.1 健全な都市空間の源泉 27
 - 5.2 都市、メトロポール地区、都市景観 28
 - 5.3 ジードルンク建設における政治的目標 30
 - 5.4 社会生態学的なジードルンクの建設 31
 - 5.5 社会生態学的なジードルンクの礎石 35
6. ドイツにおける法秩序 日本語版では当面省略します 46
7. 社会生態学的な都市景観の課題 47
 - 7.1 エネルギーシフト 48
 - 7.2 都市と建築の気候学 48
 - 7.3 都市の減築、都市地区の活性化、都市の高密度化 50
 - 7.4 都市農村景観 53
 - 7.5 都市部の農業 55
 - 7.6 農村地区の改修 57
 - 7.7 建築展覧会と認証 59
8. 目標とヴィジョン 60
 - 8.1 都市バウビオロギー 62

バウビオロギー 新25の指針 64



目次

インフォメーション

パウビオローゲの集い (第1回)
 —パウビオロギーに関心をもつ建築実務者のための— **03**

■ 10月25日

13:30 ~ 趣旨説明

石川 恒夫 (前橋工科大学 / Baubiologie IBN)

13:40 ~ 実践者の報告

辻 充孝 (岐阜県立森林文化アカデミー / Baubiologie BIJ)

カミノハウス (2014) —暮らし方とDIYで省エネ+豊かさアップ—

落合 伸光 (ピオクラフト / Baubiologie BIJ)

実践者の報告 [埼玉 川越での試み]

阿部 哲志 (岩手県庁 / Baubiologie BIJ)

パウビオロギーの普及に向けて

~パウビオロギーを通して考える住環境と人間との全体的諸関係~

江藤真理子 (空設計工房 / Baubiologie BIJ)

パウビオロギー+パッシブデザイン-熊本パッシブハウスでの試み

15:30 ~ 専門家セミナー

石川 恒夫 (前橋工科大学)

「パウビオロギー 25 の指針

—自然のメカニズムと住まいの柔らかない呼応を求めて—

辻 充孝 (森林文化アカデミー)

「非定常計算でわかる断熱材の蓄熱効果と夏型結露対策」

坊垣 和明 (東京都市大学名誉教授)

全員でのディスカッション

17:00 ~ 食事会+懇話会 (学生が調理)

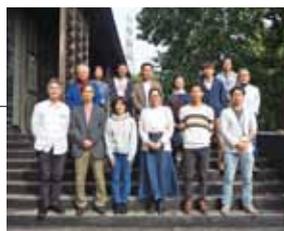
■ 10月26日

9:00 ~ 12:00 パウビオロギー討論会

・通信講座第4巻

(建築工法)の巻末の仕様規定について

コーディネーター: 辻



国際パウビオロギー・フォーラム in イズミール(トルコ) 石川 恒夫 **04**

自然素材で建物をつくる研究グループ 出展パネル **08**

第56回定例セミナーレポート

ブルーノ・タウトの住宅/集合住宅から学ぶこと 田中 辰明 **38**

パウビオロギー Q & A

床暖房とフローリング 落合 伸光 **46**

報告

日本パウビオロギー研究会 **48**

平成30年度(2018年度)決算・令和元年度(2019年度)予算案

合同研究会 2019 in 北海道

—全館空調住宅をめぐる— 石川 恒夫 **50**



目次

追悼 ヴォルフガング・メース 石川 恒夫 **02**

遺稿 パラダイスはもはやない ヴォルフガング・メース **03**

2. パウ・ビオ・ロギー

パウ・ビオ・ロギー。三つの言葉が組み合わせられている。パウこれは空間(部屋)、館、巢を意味している。ビオこれは命である。ロゴスこれは自然の秩序、調和であり、意味、理性、法則、あるいは神の言葉をも意味する。パウビオロギー: 私たちが生活している場所(空間)は、自然の秩序、調和の内にありますか? もし、はい、であれば、素晴らしい。もし、いいえ、であれば、秩序を再び見出すために、何がなされるべきか? パウビオロギー: 健康な住まい、健康な、生き生きとした生活空間のための大切な教えである。リスク要因にとぼしい空間こそ、生命力と休息を促してくれる。パウビオロギー。若くて新しい学問だ。それは遅くにこの世にやってきた。遅すぎたのか? 多くの答えがすでに可能であり、多くの問いはまだ問いとして残り、さらに多くの問いがまだ立てられてはいない。

長年の経験とたくさんのパウビオロギー調査が私の手もとにある。多くの同胞によって助けられてきた。多くの苦しみ、家屋で生じた電磁場の、放射能の、有害物質の、微生物の、室内環境の、もろもろの環境ストレスとともに消え去った。多くの患者さんと医師は熱狂した。私もその一人である。

(再掲) 医療実践におけるパウビオロギーと環境医学の協働 **15**

ヴォルフガング・メース氏とペーターゾーン夫妻の対談



目次

日本バウビオロギー研究会 2019年回顧と2020年展望	石川 恒夫 02
57 回定例セミナー・レポート 「大平宿を見学して」	大富 有里子 08
バウビオロギー・マガジンから 免疫力のアップのために -バウビオロギーからの解決 ウヴェ・ヴェナー+石川 恒夫	10
健康な住まいと暮らし ヴィンフリート・シュナイダー	12
5G（第5世代移動通信システム） -バウビオロギーの視点から	マンフレッド・ミリュウ 15
室内におけるコロナウイルスのリスクを 最小限に抑える	マンフレッド・ミリュウ 20
バウビオロギー建築 榛名の家	中曾根 康 24
特別寄稿 闇夜の体験-若宮おんまつり（奈良春日大社）にて	平柳 利英 28
日本バウビオロギー研究会 令和元年度（2019年度）会計報告・令和2年度（2020年度）予算案	30

快適な室内環境

刺激をひきおこす素材、有害物質の使用を減らし、新鮮空気を十分に確保する
健康を損ねるカビ、バクテリア、塵埃、アレルゲンを回避する
無臭もしくは良い香りのする材料を用いる
電磁場、無線（ワイヤレス）通信を最小限に
暖房のために放射熱源を優先する

建材の選択

放射能（ラドン）のできるだけ少ない、自然素材、汚染されていない材料を用いる
断熱と蓄熱、表面温度と空気温度の調和のとれた関係に留意する
調湿性能をもった材料を用いる
新築（躯体）の湿気の放散に注意する
部屋の音響、遮音を最適にする（低周波も含む）

空間の造形

調和的なプロポーシジョンと形態に注意を払う
見る、聞く、嗅ぐ、触れるなど感覚知覚がもたらす印象を支援する
自然に近い光のバランスと色に注意し、点滅のない照明（光源）を用いる
生理学的、人間工学的な認識に配慮したインテリアと家具を提案する
地域の建築的伝統や手仕事の技に敬意を払い、支援する

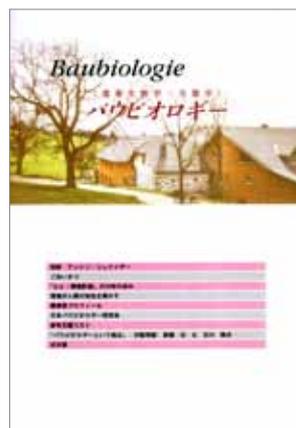
持続可能な環境の形成

エネルギー消費を最小限にし、再生可能なエネルギーを利用する
新築、改修にあつて、環境へのネガティブな影響を回避する
天然資源は有限であり大切に利用する。動植物を保護しつつ
地域固有の建築工法を優先し、エコ収支の観点から最もふさわしい材料や経済
循環を選ぶ
質の良い飲料水に注意を払う

エコ・ソーシャルな生活空間

生活を支えるインフラデザインにおいて、バランスのとれた混合利用に配慮す
る：仕事場、学校、買い物、公共交通機関が近接するように
環境を保護しつつも、人間の必要をかなえる生活空間をふさわしくかたちづくる
地方や都市部のジードリンクに十分な緑地を確保する
地産地消、自給自足を強化する。地域サービスのネットワークを促進し、需要
者と供給者とを結びつける
できるかぎり廃棄物、汚染物質、放射線源、騒音の負荷を受けていない建設敷
地を選ぶ





目次

土：伝統的な素材そして近代的な応用 02

特性：特性と質 05

建材：土からなる様々な製品 06

建物に関わる土：建設に用いる土の施工 07

技術：床、壁、屋根、天井に用いる土 08

コスト：コストに関わる要因 27

教育：土建築のための施工者養成について 28

目次

祝 辞 アントン・シュナイダー 02

ごあいさつ 石川 恒夫 03

「ひと・環境計画」10年の歩み 濱田 ゆかり 04

環境が人間の知性を脅かす フォルカー・ツアーン 06

講演者プロフィール 10

日本バウビオロギー研究会 案内 12

参考文献リスト 14

「バウビオロギーという視点」対談再録 高橋 元 & 石川 恒夫 16



高橋 元 メモリアルセミナー「バウビオロギーの原点から」
2005年3月5日 青山・ドイツ文化会館ホール
主 催：ひと・環境計画
共 催：日本バウビオロギー研究会



特別講演 バウビオロギー環境医学 フォルカー・ツアーン



講 演
「ひと・環境計画」設立10周年 そしてこれから 濱田 ゆかり
「日本の住まい 過去・現在・未来」 坊垣 和明
「ドイツ語圏でのバウビオロギー 木造建築のこれから」 マテー ベーター
「日本バウビオロギー研究会の設立 日本のバウビオロギー これから」 石川 恒夫

バウビオロジー 新 25 の指針 2018

バウビオロジーは、自然を範とする健康な家、持続可能で美しくつくられた生活環境のための判断基準を包括しています。問われるのは建材、空間造形に加え、生態的、経済的、社会的側面です。

 刺激をひきおこす素材、有害物質の使用を減らし、新鮮空気を十分に確保する

 健康を損ねるカビ、バクテリア、塵埃、アレルギーを回避する

 無臭もしくは良い香りのする材料を用いる

 電磁場、無線（ワイヤレス）通信を最小限に

快適な室内環境  暖房のために放射熱源を優先する

 放射能（ラドン）のできるだけ少ない、自然素材、汚染されていない材料を用いる

 断熱と蓄熱、表面温度と空気温度の調和のとれた関係に留意する

 調湿性能をもった材料を用いる

 新築（躯体）の湿気の放散に注意する

建材の選択  部屋の音響、遮音を最適にする（低周波も含む）

 調和的なプロポーションと形態に注意を払う

 見る、聞く、嗅ぐ、触れるなど感覚知覚がもたらす印象を支援する

 自然に近い光のバランスと色に注意し、点滅のない照明（光源）を用いる

 生理学的、人間工学的な認識に配慮したインテリアと家具を提案する

空間の造形  地域の建築的伝統や手仕事の技に敬意を払い、支援する

 エネルギー消費を最小限にし、再生可能なエネルギーを利用する

 新築、改修にあつて、環境へのネガティブな影響を回避する

 天然資源は有限であり大切に利用する。動植物を保護しつつ

持続可能な環境の形成  地域固有の建築工法を優先し、エコ収支の観点から最もふさわしい材料や経済循環を選ぶ

 質の良い飲料水に注意を払う

 生活を支えるインフラデザインにおいて、バランスのとれた混合利用に配慮する：仕事場、学校、買い物、公共交通機関が近接するように

 環境を保護しつつも、人間の必要をかなえる生活空間をふさわしくかたちづくる

 地方や都市部のジードルンクに十分な緑地を確保する

エコ・ソーシャルな生活空間  地産地消、自給自足を強化する。地域サービスのネットワークを促進し、需要者と供給者とを結びつける

 できるかぎり廃棄物、汚染物質、放射線源、騒音の負荷を受けていない建設敷地を選ぶ

現実の諸条件のもと、判断基準がすべて充足されるわけではありません。
しかし考察の中心には、それぞれ個的に実現可能な枠内での最適化が求められます。

Download : www.25leitlinien.baubiologie.de

Baubiologie Institute of Japan, BIJ
Kamisadori 460-1, Maebashi-shi, Gunma 3710816 Japan (bureau@baubiologie.jp <http://www.baubiologie.jp>)
なお日本語版は、ドイツ語版（オリジナル）からの翻訳です。Translated by Tsuneo ISHIKAWA, July 2018

